

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 身辺自立に向けてできること事を増やし、できた喜びを感じ、進んで取り組もうとする意欲を育てる。(1)(2)
- ② 集団を通して友達や職員との関わり方、自分の気持ちを表現する方法を身に付ける。(3)(4)(5)
- ③ 提示された活動に前向きに取り組む姿勢、やり遂げる力を育む。(3)(5)

【目標の具現化】

- ① 衣類の着脱や靴の脱ぎ履き、排せつや食事は日常的に必要な行為である為、何かひとつ得意とし進んで取り組めるようになって欲しい。また、できた喜びを感じる事で自信へと繋げていき、次も頑張ろうと思える意欲を高め習慣化できるようにしていきたい。
- ② 集団の中で、周りの友達や職員と一緒に遊ぶ楽しさを味わうとともに、適切な言葉遣いや距離感を身に付け、社会性を育てていく。また、自分の気持ちを言葉や動作にして表現する事で相手に伝わるということを知り、コミュニケーション手段の向上を図りたい。
- ③ 活動と遊びのけじめをつけ、自分がやるべきことに前向きな気持ちで取り組める力を育てていきたい。子どもが活動をやる意義を感じられるような言葉掛けや環境設定を行うことで、提示された活動への意欲向上や根気力、継続力を養い子ども達の自己肯定感を高めていきたい。

【活動日課・活動内容】

平日

16:00～はじめの会
個別課題
16:30～主活動
・作業学習
・集団活動など
17:00～選択活動
終わりの会
荷物整理

学校休業日

10:00～はじめの会
個別課題
11:00～主活動①
(作業学習)
12:00～昼食
主活動②
14:30～選択活動
終わりの会
荷物整理

長期休業日

- ・事業所外学習を定期的実施し、公共のマナーや様々な体験を通し成長を促す。
- ・学習と運動+行事を通し、社会性や主体性を養う活動を選定し成長を促す。
- ・インクルージョンの視点から地域交流等のかかわりを取り入れる。

平日は身辺自立に伴う活動、学校休業日は学習+子どもが主体的に活動できるようにしていく。

【指導員の評価の観点】

- 取り組もうとする姿勢や成功を共に喜び、声を掛けることができたか。
- 環境に配慮し関わりやすい雰囲気作りや、心に寄り添った支援ができたか。
- 個別の能力を活かす活動内容の工夫や提示ができたか。